

令和7年度 学校経営計画

練馬区立北原小学校長 宮崎 晴美

【基本の方針】

本校の校章や校歌に込められた思いを受け、児童の健全な成長を保証し、学校に関わるすべての人々が誇りに思い、保護者・地域から信頼される学校を継承する。

1 目指す学校

(1) 目指す学校像

・ 喜びあふれる学校 ・ 安心できる学校 ・ クリーンな学校

(ア) 喜びあふれる学校(子供と職員が成就感を味わえる学校を目指す)

- 成就感・達成感・充実感・満足感・存在感から生まれる「喜び」(自己肯定感)
- 「新しい発見の楽しさ」「分かる・できる楽しさ」を実感できる「喜び」
- 教職員が自ら考えて行動し、教育実践を通して成長し、経営参画できる「喜び」

(イ) 安心できる学校(保護者・地域との連携を実践し信頼される学校を目指す)

- 人権尊重の教育の充実(いじめや差別のない学校)
- 生命を大切にす教育(安全確保と事故防止・危機を察知する能力・規範意識)
- 保護者や地域との協働・連携の推進

(ウ) クリーンな学校(教育環境の整備された開かれた学校を目指す)

- 開かれた学校(授業公開・行事への取組・HP、各種たより等の発信の充実)
- 教育環境の充実(教師の言動、教室内外の整備、職員室の整備)
- 公費の有効活用(税金の行使という意識の向上)
- サービスの厳正(24時間、365日 公務員としての自覚ある言動)

(2) 目指す児童像(教育目標) ◎は重点目標

○ 明るくたくましい子ども ◎ よく考える子ども ○ 思いやりのある子ども

(ア) 明るくたくましい子どもの育成

- 「自分自身の健全な成長と体力向上を考え実践できる子」の育成に向けた体育科授業、健康教育・食育の充実

(イ) よく考える子どもの育成(重点目標)

- 「主体的・対話的で深い学び」を実践し、思考力育成の充実
- 確かな学力の定着と向上(問題解決型学習、基礎・基本の定着・言語活動の重視)

(ウ) 思いやりのある子どもの育成

- 「人との関わりを大切にす子」の育成に向けた道徳教育の充実
- 「豊かな心を育む」異学年交流の充実

(3) 本校の特色を生かした学校経営

- 地域に根ざした学校づくりの実践
- 小中一貫教育の推進(外国語・英語教育・道徳教育の充実)
- やわらぎルームとの連携教育、幼・保・小連携教育の充実

- ICT の活用推進(デジタル教科書・一人一台タブレット端末・オンライン授業配信)
- キャリア教育の推進(キャリアパスポートの活用)

2 今年度の取り組み目標と方策

(1) 教育活動の目標

児童・教職員が、ともに日々成長していることを実感し、喜べる学校

(2) 教育活動の目標達成のための方策

(ア) 児童主体の授業づくり (自己肯定感を育てる)

- 知的好奇心をゆさぶり、満足感・成就感のある授業づくり(算数少人数)
- 「主体的・対話的で深い学び」による思考力・判断力・表現力を育てる授業づくり
- 問題解決型授業展開で、自らの成長を感じさせる授業づくり
- ICT 活用による、個別最適な学びの充実
- 道徳教育・英語教育・プログラミング教育の効果的実践

(イ) 生活指導の充実(「自分の命は自分で守る」態度の育成)

- 安全教育の徹底 : 自転車安全教室(3年)の実施、セーフティ教室の充実ほか
- 「あいさつ運動」の継続 : いつでも・誰とでも・笑顔で・明るい声で
- 生活指導全体会や校内(いじめ対策)委員会を通しての児童理解と指導の共通化
- 防災教育の充実(避難訓練、区一斉防災訓練、防災教育補助教材の活用等)

(ウ) 個を生かした指導

- 特別支援教育の充実: やわらぎルームとの情報共有、指導方法の共通化
- 教育相談活動の充実: 一丸となった指導体制
- 特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー・心のふれあい相談員との連携
- 習熟度別指導(算数)等におけるきめ細かな指導体制

(エ) 授業を通して資質向上を図る教師

- 身だしなみ、言葉づかいの再確認(男女を問わず「さん」付けで呼ぶ)
- 主幹教諭・主任教諭を中心とした OJT の推進
- 道徳授業地区公開講座や学校公開における授業の充実
- 自己の専門性を磨く教師(区・都教育研究会等への参加)
- 週ごとの指導計画による見通しをもった授業計画と実践
- 授業観察時における教員同士の学び合い(年3回)

(オ) 保護者や地域及び学校関係諸機関と連携した指導

- 学校公開(学校行事・授業参観・道徳授業地区公開講座・セーフティ教室等)の充実
- 教育活動の啓発(学校だより・ホームページの更新)
- 保護者会、個人面談等を通じた保護者との連携
- 「学校サポートチーム」(学校評議員、民生児童委員、民生委員ほか)との連携
- 学校司書の活用、稲荷山図書館と連携した読書活動の推進

(カ) 教職員の働き方改革

- 問題及び課題解決に向けた組織での対応による個への負担軽減
- 校務・組織の合理化による職務軽減及び「ライフワークバランス」の確立
- 週に1日、定時退勤日の推奨